

Hewlett Packard
Enterprise

HPE GREENLAKE DATABASE WITH EDB POSTGRES

日本ヒューレット・パッカード株式会社
GreenLakeビジネス開発本部 福田健治

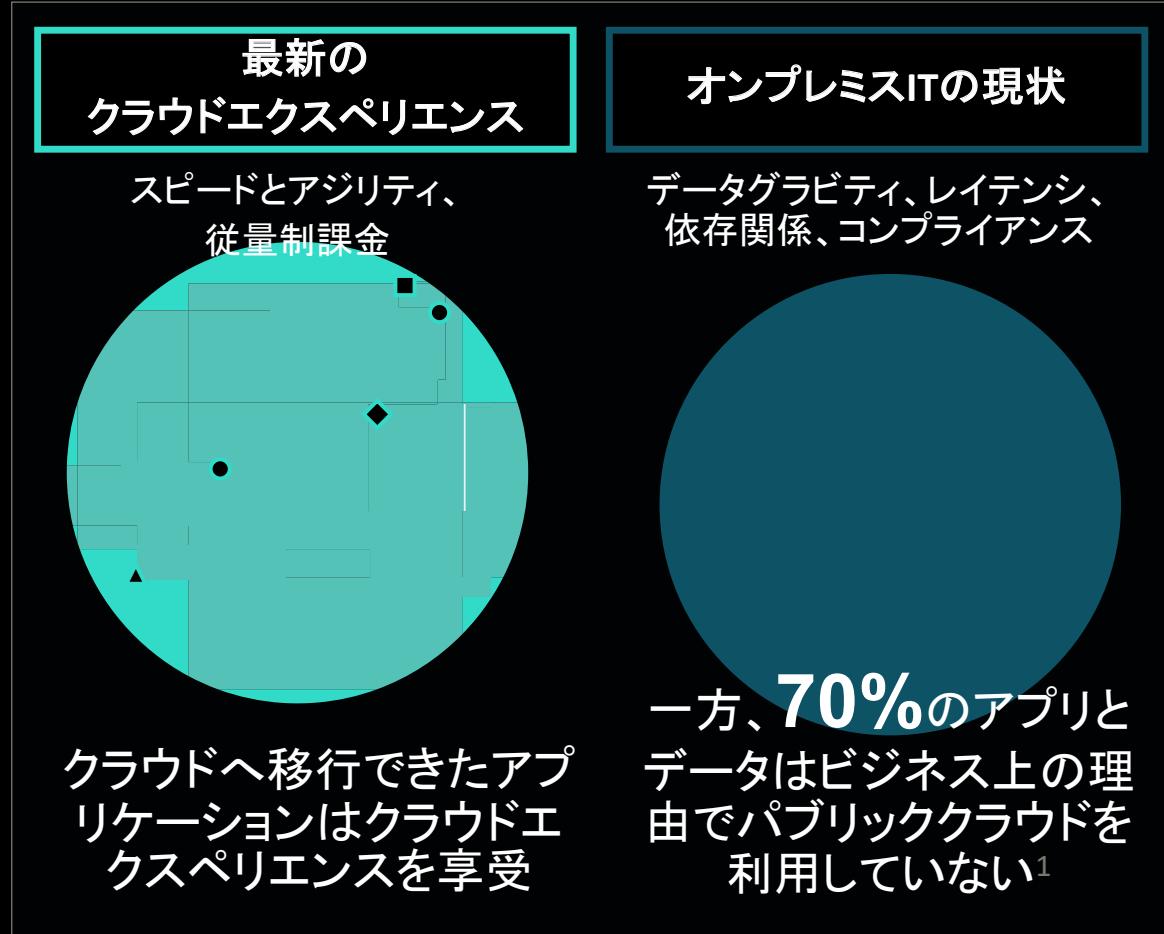
2021 年 4月14日

Three years from now, this company will become consumption-driven and everything we do will be available to our customers as a service.

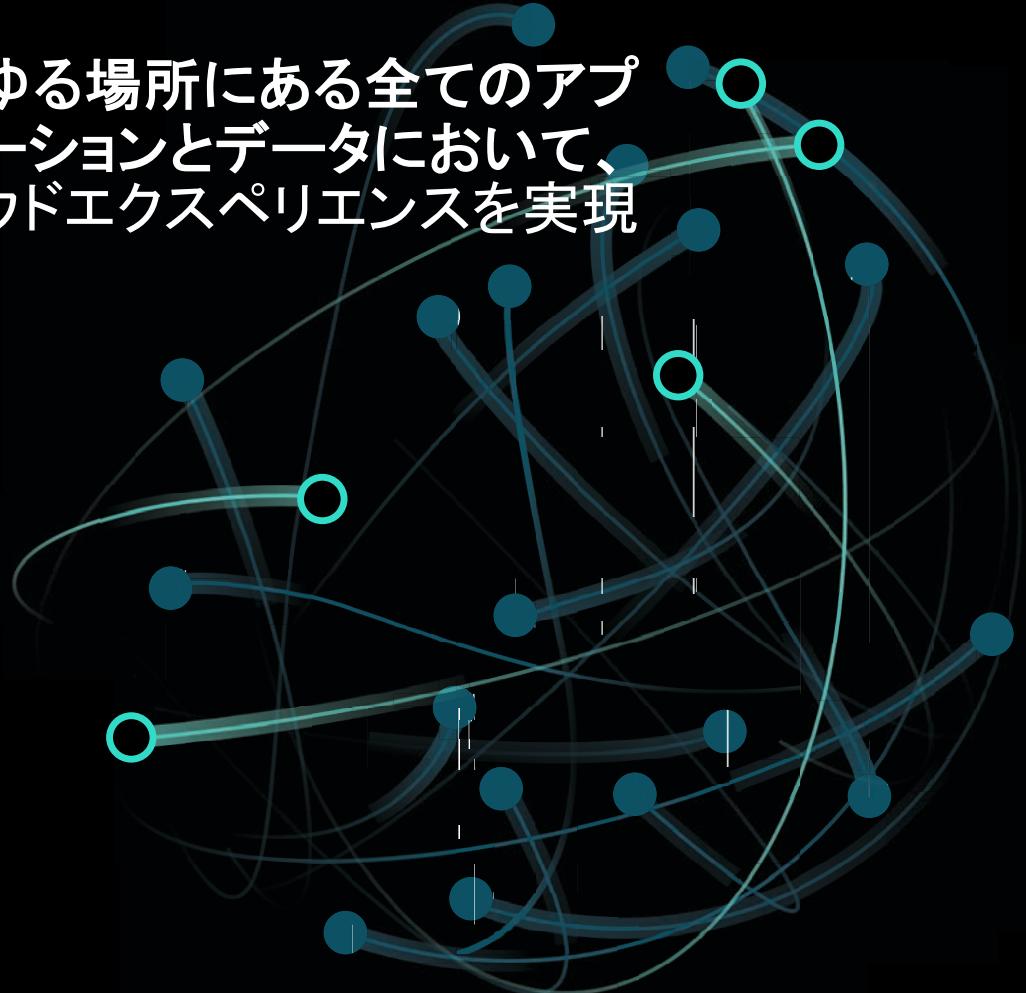
Antonio Neri - June 2019

HPEは3年以内にas a serviceカンパニーに移行する計画を発表
2022年までにすべてのポートフォリオをas a serviceで提供可能にする

あらゆる場所にスピードをもたらすデジタル変革2.0



あらゆる場所にある全てのアプ
リケーションとデータにおいて、
クラウドエクスペリエンスを実現



¹ 『IDC Cloud Pulse Q1 2020』より

“エッジからクラウドまで。あらゆる場所でクラウドエクスペリエンスを提供“

HPE GREENLAKE

THE CLOUD THAT COMES TO YOU



Self-service

GL Centralポータル

Pay-per-use¹

従量課金制
コストとビジネス成果
の一一致

Scale up
and down

スピードと柔軟性
需要より先に
リソース用意

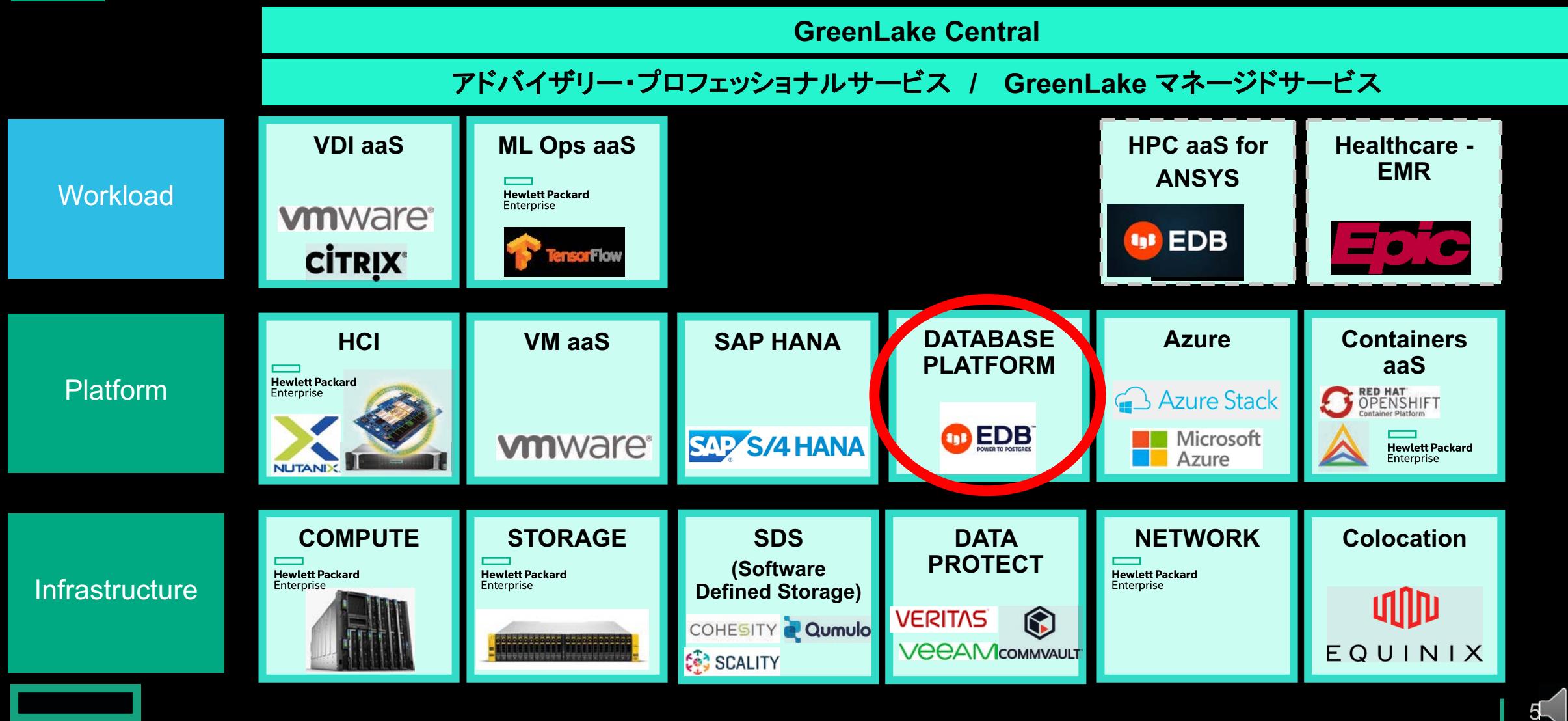
Managed
for you

HPEによる運用支援
お客様はビジネスに
フォーカス

1 基本使用量(最低料金)が設定されます。

HPE GREENLAKEクラウドサービス

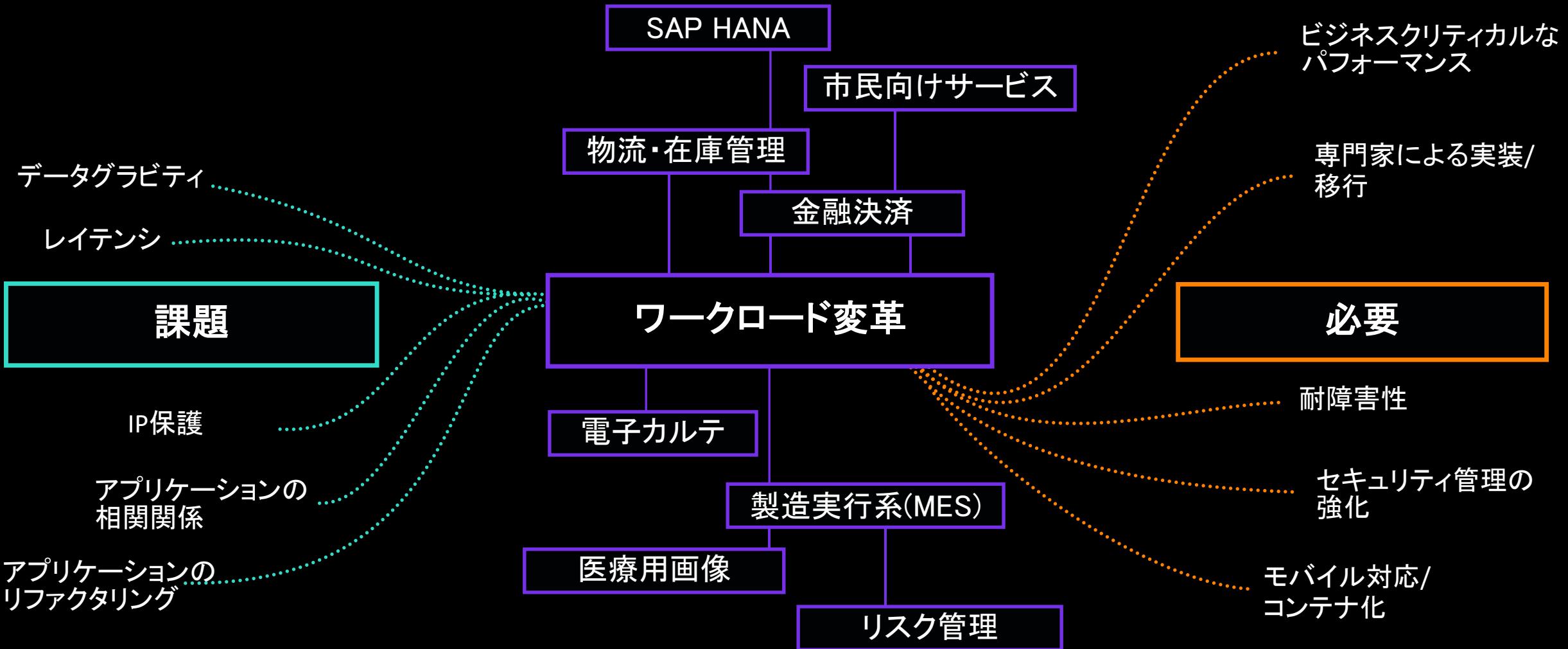
プラットフォームからワークロードへポートフォリオ拡充とサービス強化



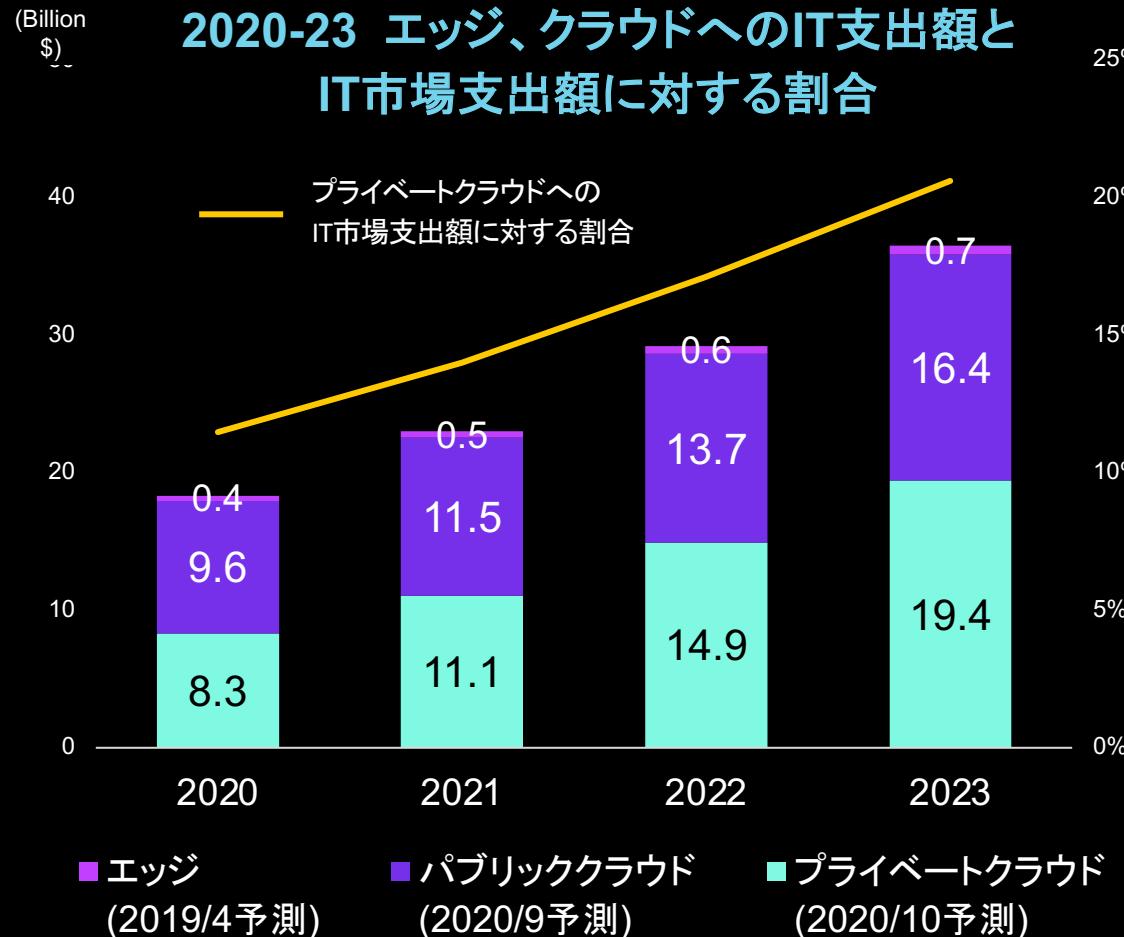
なぜ、AS-A-SERVICEなのか - HPE GREENLAKE



変革が困難な高負荷ワークロード



プライベートクラウドとAS-A-SERVICEのマーケット状況



出典:

IDC Japan #JPJ46663620 「国内IT市場産業分野別／従業員規模別／年商規模別予測アップデート」(2020年6月)、「国内IoTインフラストラクチャ市場予測、2019年～2023年」(IDC # JPJ44115118、2019年4月発行)、IDC Japan プレスリリース:国内パブリッククラウドサービス市場予測を発表(2020年9月14日)、IDC Japan プレスリリース:国内プライベートクラウド市場予測を発表(2020年10月19日)をもとにHPEが作成。USドルはHPEの換算レートを使用

IDC様 国内プライベートクラウド市場調査

* IDC Japan 様 Web メディアセンターより抜粋

国内プライベートクラウド市場動向:

- 2019年～2024年の年間平均成長率(CAGR: Compound Annual Growth Rate)は28.6%で推移
- 2024年の市場規模は2019年比3.5倍の2兆5,658億円になると予測
- ベンダーが有するIT資産を「サービス(as a Service)」として提供するホステッドプライベートクラウドは「産業特化型クラウドサービス」「パブリッククラウドの技術を活用したローカルクラウド」など、多様に発展

AS-A-SERVICEのビジネス効果 – 定性的評価

クラウドのような俊敏性や柔軟性、従量制課金がオンプレミス環境で実現

1. 迅速なリソース増強

- 従来型オンプレITの場合
サイジングや価格交渉など長い調達期間

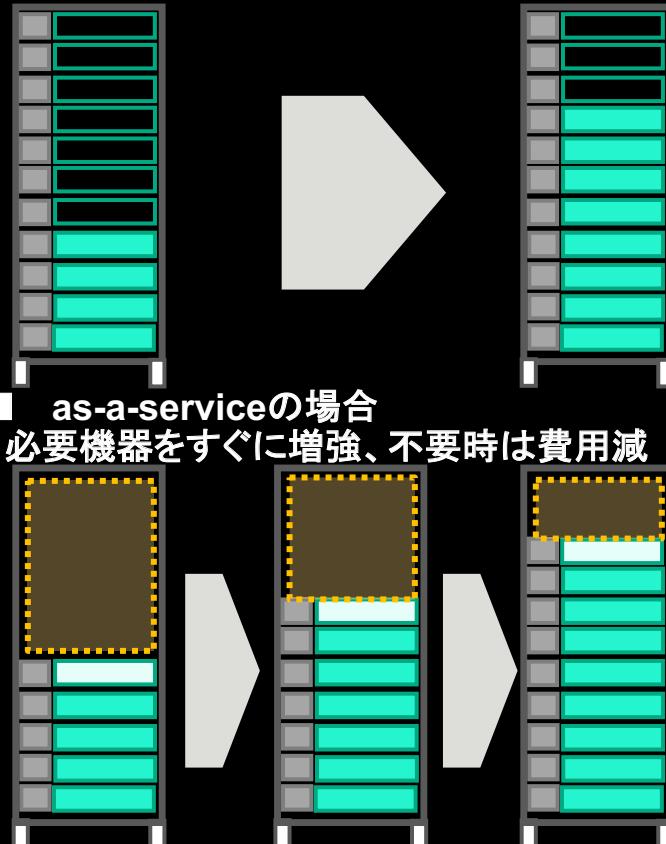


- as-a-serviceの場合
設置済み機器を迅速にプロビジョニング



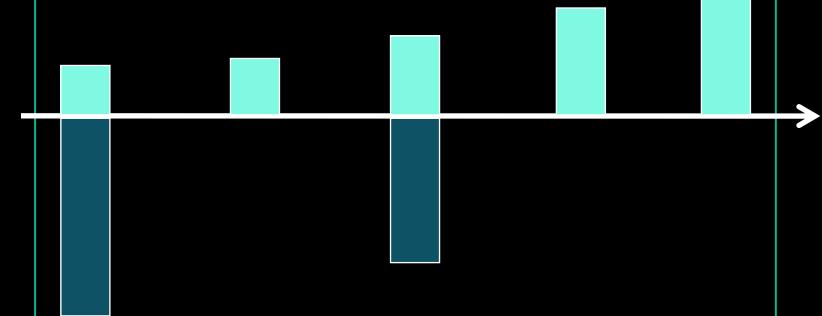
2. オーバープロビジョニング削減

- 従来型オンプレITの場合
リードタイムをカバーする余剰資源が必要

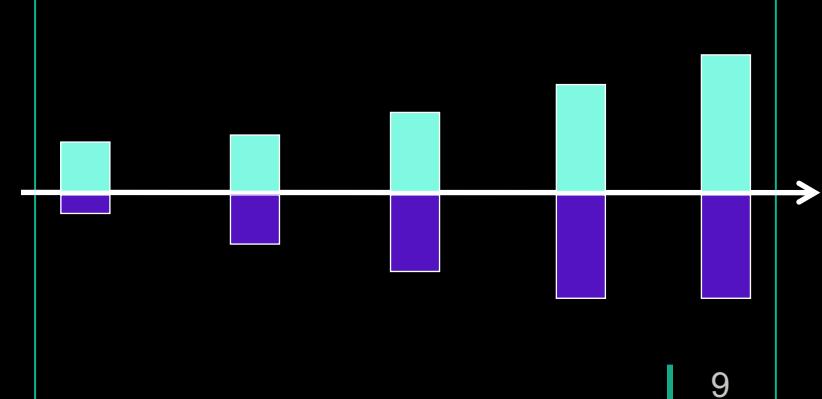


3. IT投資回収の早期化

- 従来型オンプレITの場合
多額の初期投資と回収に必要な時間



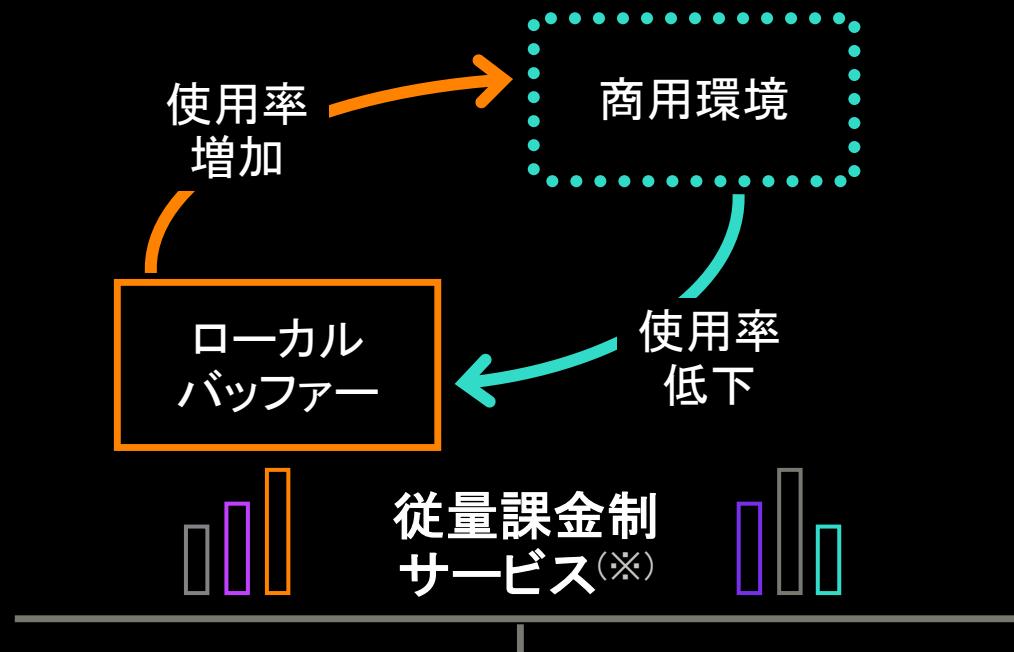
- as-a-serviceの場合
キャッシュフロー改善し、早期収益化を促進



HPE GREENLAKEクラウドサービス

オンプレミス環境での従量課金制as-a-service

エッジからデータセンターに渡るあらゆる場所で
最新のクラウドエクスペリエンスを



ワークロードに合わせて
幅広いサービスから選択

常に需要に先んじて
キャパシティを確保

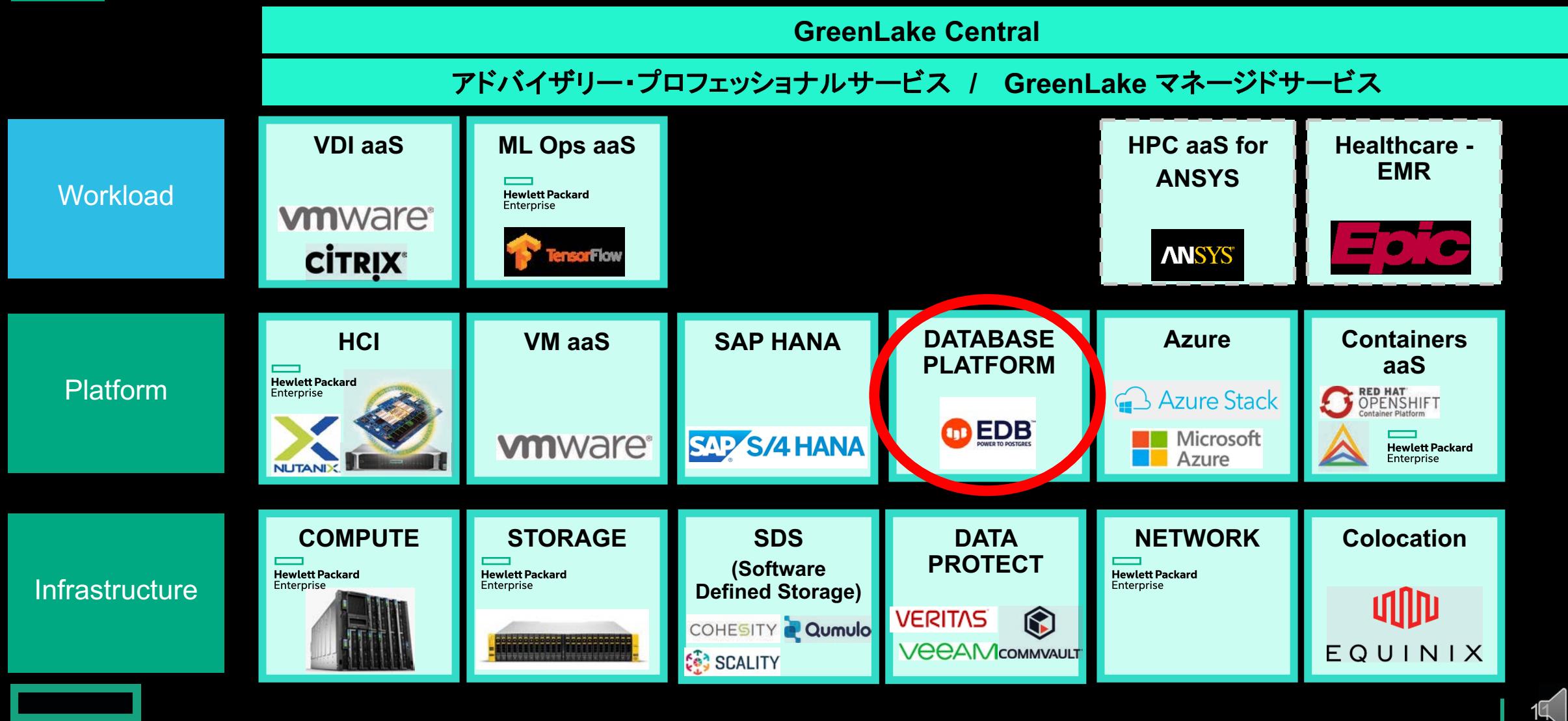
需要の増減に応じて従量
課金制で^(※)

マネージドサービス
お客様の代わりに運用

(※) 基本使用量(最低料金)が設定されます。

HPE GREENLAKEクラウドサービス

プラットフォームからワークロードへポートフォリオ拡充とサービス強化

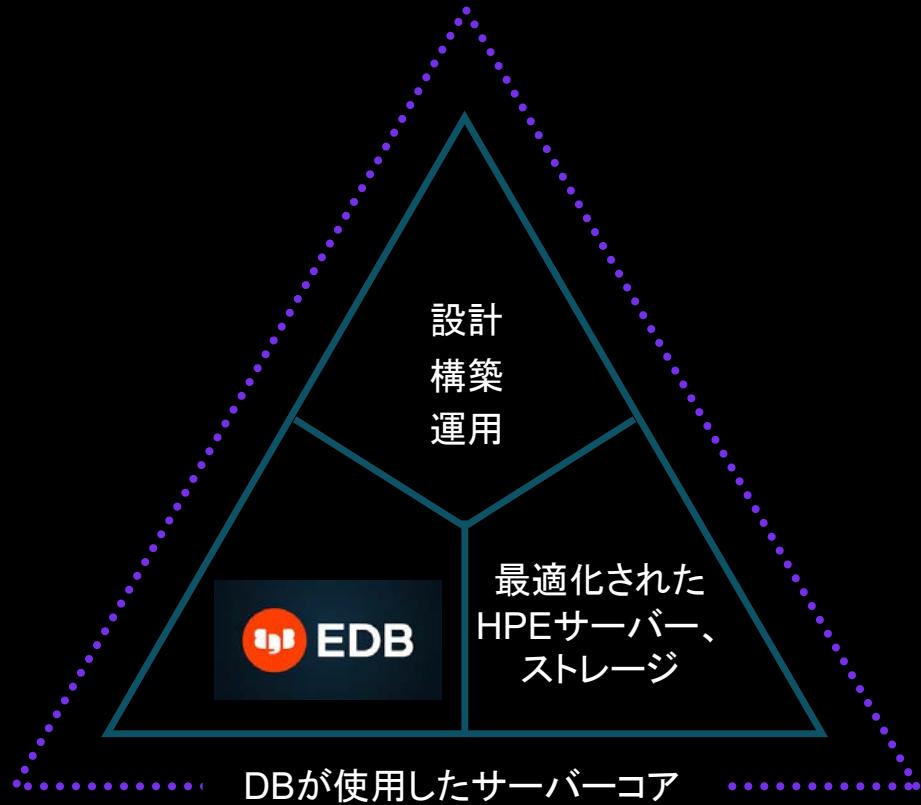


HPE GREENLAKE WITH EDB POSTGRES



HPE GREENLAKE DATABASE WITH EDB POSTGRES

業界をリードするオープンソースDBで、最適なTCOを実現



HPEリファレンス・アーキテクチャ
開発環境、本番環境用の標準構成

EDB Postgresソフトウェア
グローバル契約に基づく、EDB SWの提供

運用サービス
社内IT技術者を、より付加価値の高い業務に

HPEの専門性
アセスメント、DB移行支援、EDBインフラの設計・構築

HPE GREENLAKE DATABASE WITH EDB POSTGRES



設計・構築

お客様のオンプレミスに、用途に応じたEDBシステムを設計・構築。

ミッションクリティカルシステムの経験豊富な、HPEプロフェッショナルサービスによる設計・構築

既存DBからのアプリケーション移行のためのアセスメント、並びに実際の移行作業

消費型サービス

HPE製サーバー、ストレージ、およびサービスを、初期導入後も需要に応じて柔軟に拡張

オペレーティングシステム

EDB Postgres Advanced Server (EPAS)

DBサーバーで利用するCPUコア数に応じた課金体系

監視・運用

インフラに加えてDB層まで、HPEチームによる監視、運用、および管理

DB性能の分析、およびチューニングサービスも提供可能

サポート

HPEデータセンターケアによる、フルスタックの保守体制。優先対応、お客様担当エンジニアのアサイン、等

EDBサポートも日本語で提供



HPE GREENLAKEによるEDBシステムの従量課金

ハイブリッドクラウド環境での、伸縮性のあるキャパシティ提供と、エンタープライズ・サポート

使った分だけ支払い

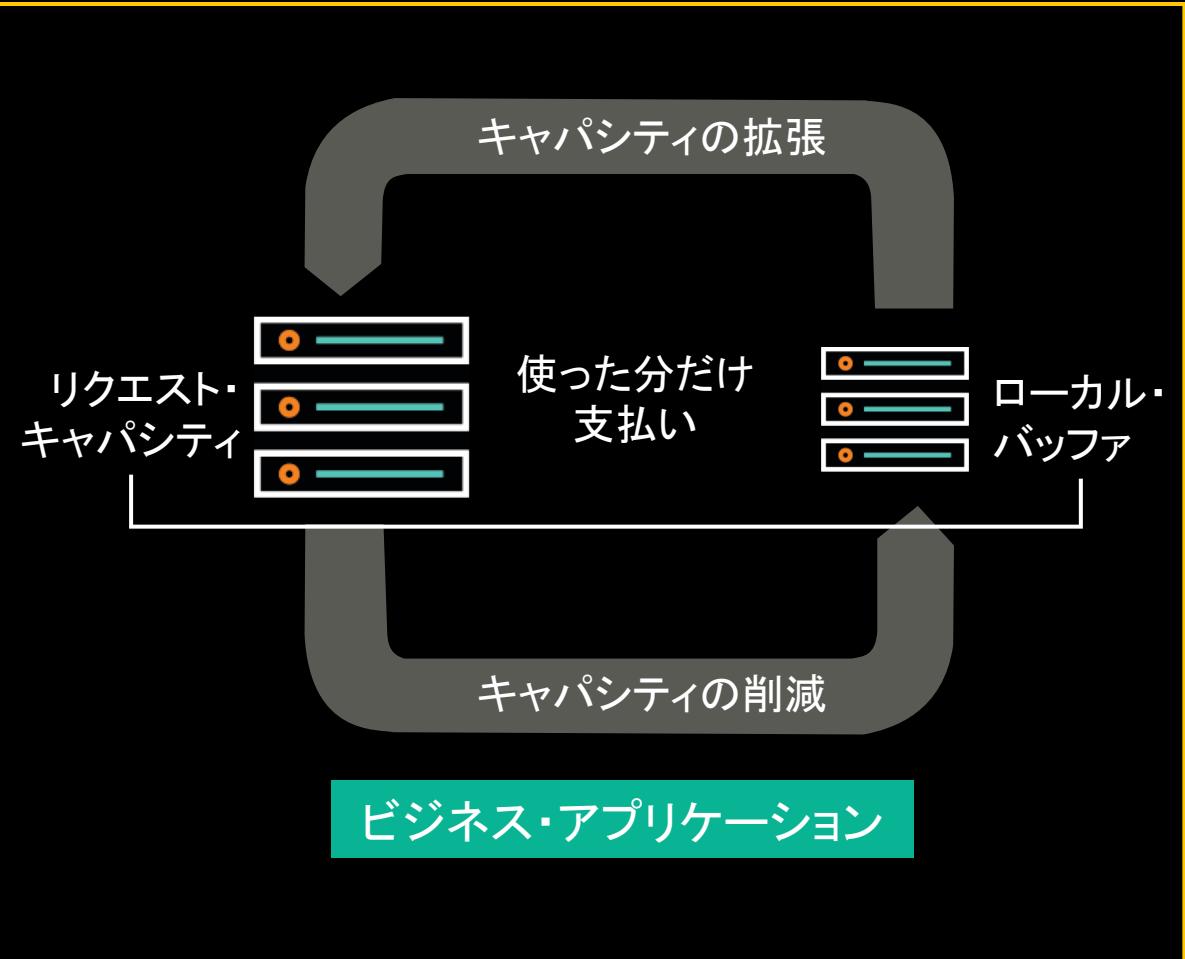
- 先進のメタリング技術により、毎月使った分だけを支払い
- 前払い金の支払い不要
- 安全を見越したオーバープロビジョニングが不要

リソース不足に陥るリスクをなくすため、「バッファ」を設置

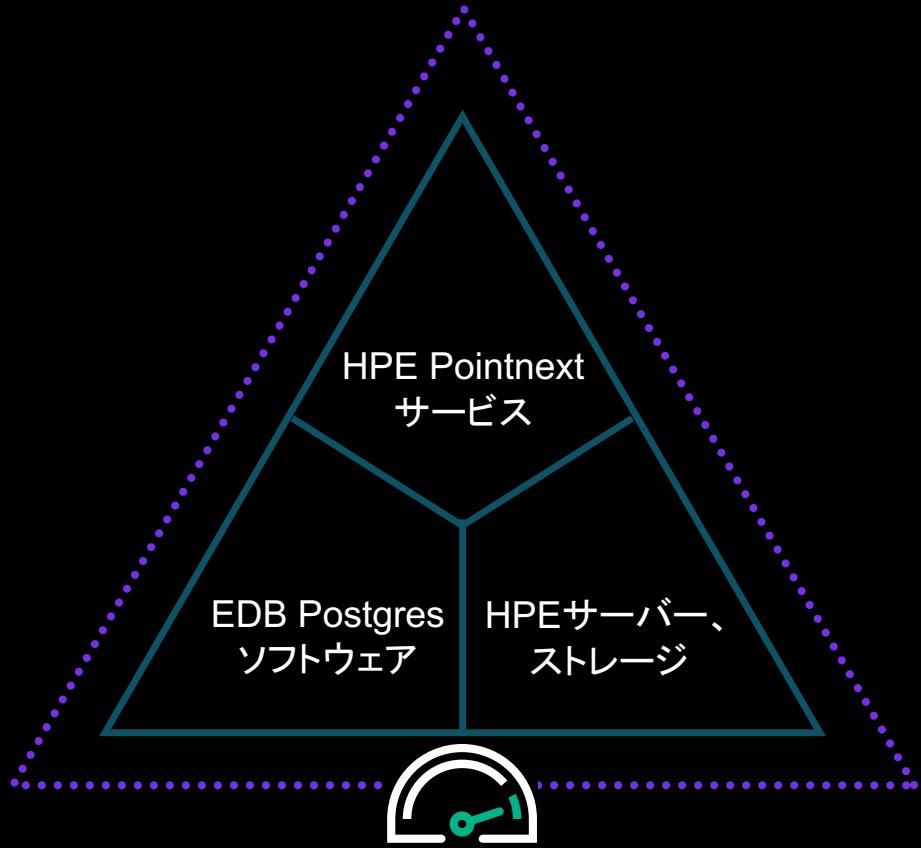
- スケーラブル - 「月」ではなく「分」でリソース追加
- 長期にわたる購買プロセスを回避
- HPEアカウントチームと協調した、キャパシティ管理

サーバー、ストレージ、ネットワーク、HCI、ソフトウェアに適用

- HPE製品だけではなく、他社製品も提供可能
- お客様固有のビジネス要求に対応する構成が可能
- セキュリティ、および管理性のために、お客様のデータセンターに設置



HPE GREENLAKEによる、EDB POSTGRESの従量課金

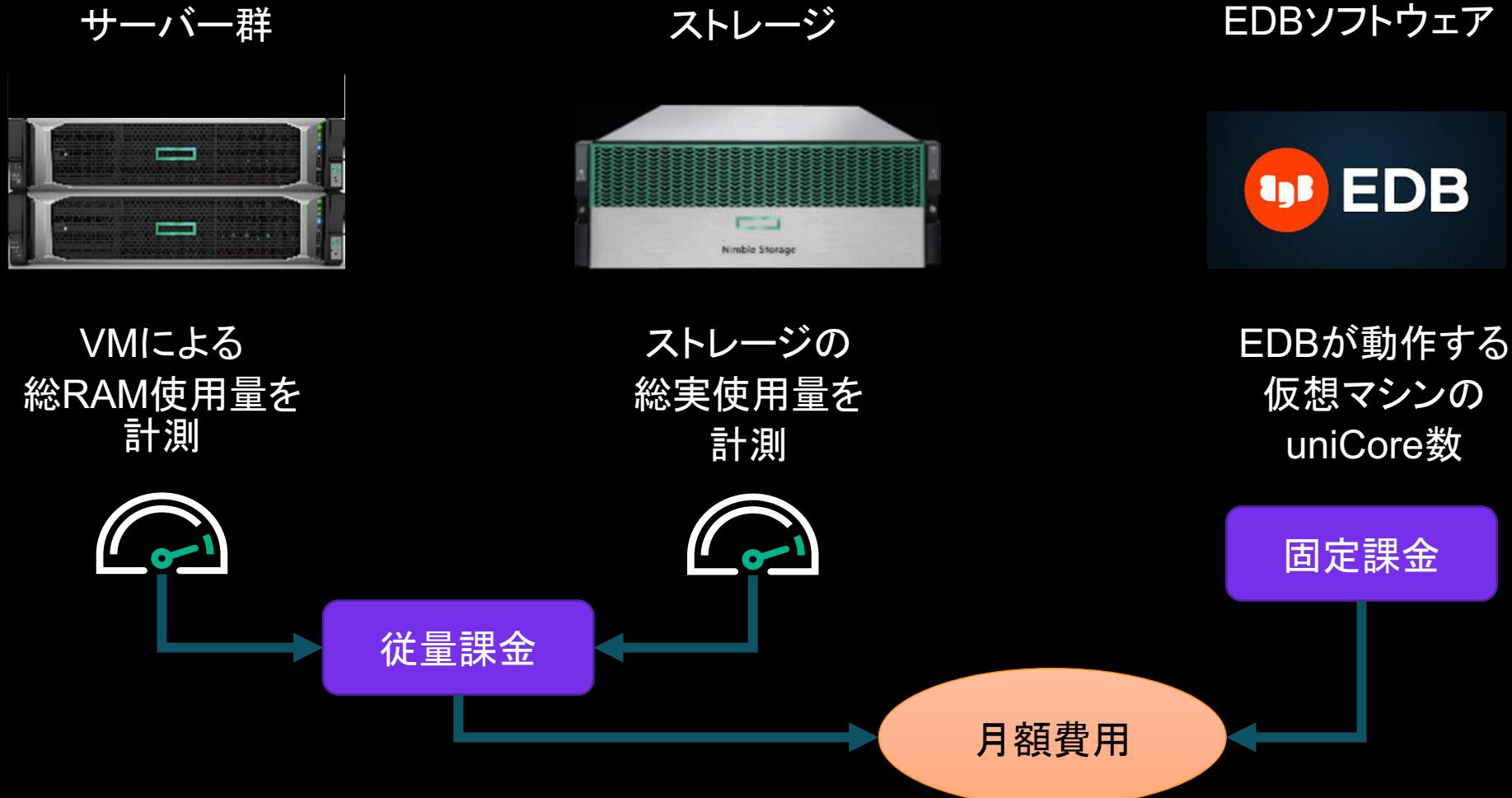


Solution Component	Meter
サーバー/サービス/ソフトウェア	利用されたサーバーの物理コア ¹
ストレージ	ストレージの実使用量 (GB単位)

¹ 物理コア – EDBにアクセスがあったアクティブなサーバーコア。GreenLakeの「Linux per Core」と同義。

- GreenLakeデータベースはデータベース・アプライアンスとして設計
 - EDBは全てのサーバー物理コアにライセンス
 - 1つ、もしくは複数のEDBクラスタをサポート
- 複数のEDBクラスタにまたがった不均一のリソース割り当てをサポートするため、仮想化環境をサポート
- 仮想リソースの過剰割り当てではなく、物理層でパフォーマンスの問題に対処
- 非データベースアプリケーションも利用可能 (EDBライセンスは消費)

標準的なGREENLAKE従量課金モデルでの利用も可能



HPE GREENLAKE WITH EDB POSTGRESの価値



Time to Valueの短縮

需要に応じて柔軟に拡張可能な、完全なエンタープライズ品質のデータベースプラットフォーム

業界随一のオープンソースDBプラットフォーム

お客様のご要望に応じてご抵抗する、HPEの専門技術者による、アセスメント、設計、導入、構築、ならびに運用管理サービス

Oracle互換性による、技術者育成の容易さ



適切な管理体制

定評のある、EDBエンタープライズグレードのセキュリティと性能

コンプライアンス基準、およびデータ主権の要求に対応する、オンプレミスでの導入



IT環境の簡素化

プロプライエタリなDBからの短期間での移行
リモートからのシステム監視、および管理
(キャパシティ管理、メンテナンス、等)

システム全体にわたって、単一のITパートナーとの業務遂行



Pay-per-Useの経済性

プロプライエタリなDBに比較して、最大70%のTCO削減

データベースが使用するシステムコアのみに応じて、システム全体の利用量を課金。



HPE GREENLAKE DATABASE WITH EDB POSTGRES

HPE Pointnext チームにご相談ください

対象とするソリューションを定義

ビジネスの要請に応じた対応

改善すべき人/プロセス/技術を定義

御社ご担当のHPE営業にご相談ください。

HPE GreenLakeに関する更に詳しい情報は www.hpe.com/jp/ja/greenlake まで



THANK YOU

